



横浜市に姉妹都市オデーサ市の 柔道クラブの子どもたちが一時避難します



このたび、ウクライナのオデーサ市からの要請に基づき、かねてから交流のある柔道クラブの子どもたちやコーチが一時避難のため、来日します。横浜市は、公益財団法人横浜 YMCA、横浜市柔道協会、独立行政法人国際機構（JICA）横浜センター、公益財団法人日本財団等と協力しながら、横浜市での避難生活を支援します。

一時避難の概要

1 期間（予定）

令和4年7月18日（月・祝）～ 令和4年8月下旬
※フライト等の状況により、入国日が変更となる可能性があります。

2 滞在場所

独立行政法人国際機構（JICA）横浜センター等

3 一時避難者

オデーサ市柔道クラブ「ヨーロッパ」の小学生から高校生の子どもたち12名、コーチ2名

4 避難中の生活

慣れない避難生活の不安を和らげるためにも、親しみのある柔道の練習や日本の生活と文化の理解を深める活動を実施する予定です。

5 主な協力団体

公益財団法人横浜 YMCA、横浜市柔道協会、独立行政法人国際機構（JICA）横浜センター、公益財団法人日本財団



本事業の一部は日本財団の助成を受けて実施しています。

【オデーサ市柔道クラブ「ヨーロッパ」との関係について】

令和3年11月21日、ウクライナ大使や、オデーサ市副市長、横浜市国際局長も参加の下、本市の姉妹都市であるオデーサ市の柔道クラブ「ヨーロッパ」と横浜市柔道協会のオンライン柔道指導が開催されました。オデーサ市柔道クラブの生徒による実技披露、横浜市柔道協会による「形」の解説や模範演技、生徒の練習等が実施されました。



オンライン柔道指導の様子

お問合せ先

国際局国際連携課欧州米州担当課長

江成 政義

Tel 045-671-4721